

大 田 弘 子 教 授

専門分野：公共経済学、経済政策

略 歴：1976年一橋大学社会学部卒、(財)生命保険文化センター研究員、大阪大学経済学部客員助教授を経て、1996年埼玉大学大学院政策科学研究科助教授、1997年本学助教授、2001年本学教授、2002年内閣府参事官、2003年内閣府大臣官房審議官、2004年内閣府政策統括官(経済財政分析担当)、2005年本学教授、2006年内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、2008年8月本学教授、2009-2011年本学副学長。

1. 教 育

(1) 講 義

- * Economic and Fiscal Reform in Japan (春学期)
- * 日本経済の現状と課題 (Economic and Fiscal Policies in Japan) (秋学期)
- * Fiscal Reform in Japan (冬学期)

(2) 論文指導

- * Public Finance Program : 修士課程 1 名 (主指導)
- * Two-year Master's Program of Public Policy (MP2) : 修士課程 1 名 (主指導、学位取得)
- * One-year Master's Program of Public Policy (MP1) : 修士課程 1 名 (主指導)
- * Macroeconomic Policy Program : 修士課程 1 名 (主指導)

(3) 研修事業

- * タイ公共管理及びリーダーシップ開発研修プログラム (PMLTP)、2015年5月20日
- * Japan-IMF Macroeconomic Seminar for Asia (JIMS), Discussant, 2016年2月24日

2. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 地域政策プログラム・コミティー
- * Public Finance Program Committee
- * GRIPS Global Governance Program (G-cube) Committee

3. 社会的貢献 (A)

(1) 国および地方公共団体における審議会等の活動

- * 内閣府 規制改革会議 (議長代理)
- * 内閣府 政府税制調査会委員
- * 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

(2) 他大学・研究所等における活動

- * 名古屋大学 : 博士課程教育リーディングプログラム「PhD プロフェッショナル登龍門」
2015年7月4日
- * お茶の水女子大学「女性リーダーへの道」2015年10月21日

(3) 財団法人等における活動

- ① 役員, 委員会

- * 公益財団法人 日本生産性本部 副会長（理事）
- * 公益財団法人 新日鉄住金文化財団 評議員
- * 公益社団法人 日本経済研究センター 理事
- * 国立新美術館評議員
- * 公益財団法人日本証券奨学財団 理事
- ② その他
- * JX ホールディングス株式会社 社外取締役
- * パナソニック株式会社 社外取締役
- * みずほフィナンシャルグループ 社外取締役

4. 社会的貢献（B）

（1） ジャーナリズムを通じた発言

① 活字メディア

- * インタビュー：産経新聞「「外部取締役で緊張感高まった」 みずほFG 議長・大田弘子氏」2015年6月26日
- * インタビュー：日本経済新聞「みずほ取締役会議長「持ち合い株削減後押し」 改革促す」2015年6月27日
- * インタビュー：毎日新聞「失われた20年インタビュー「大田弘子・元経済財政担当相「政治がメッセージ作れず、遠のいた構造改革」2015年8月4日
- * インタビュー：ロイター「視点：TPP とガバナンス革命の秘められた力＝大田弘子氏」2015年12月24日
- * インタビュー：ブルームバーグ「みずほFG：不透明な次期トップ選びと決別へー大田取締役会議長」2016年1月21日

（2） 講演会，座談会，会議出席

- * RIETI BBL セミナー 2015年10月15日
- * 日本経済新聞社・中央日報・新華社主催 日中韓賢人会議 2015年11月30日（於ソウル）